



広島西南 ロータリークラブ 会報

No. 1244号



2019-2020年度役員

URL <https://hiroshima-swrc.jp>



2019-2020 RI theme
ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-2020年度

最終号

会長退任挨拶

山下 幸彦

今年1年を振り返ってみると、前半はいろいろな行事の打合せを行い、平和公園の早朝清掃に始まり、初めての廿日市 RC と合同でのガバナー公式訪問、地区補助金を利用した川内にここに食堂への冷蔵庫寄贈、広島ひかり園まごころへの電動ベッドと移動式リフトの寄贈、野球観戦家族会、地区大会参加、廿日市 RC と合同夜間例会、クリスマス例会、ポップジャパン様への職場訪問例会など一気に駆け抜けていましたが、後半はコロナ禍で3月からの予定が一気にキャンセルになるなど、その対応に追われました。

岩田幹事を始め岡本、漆原両副幹事、各理事役員の方々には、その一番大変な時期に関わらず、ご協力頂

き感謝致します。

また、何もできないなかでも佐古会員の協力により広大医学部への防護服寄贈が行えたことは、社会に対して大きな貢献ができたと考えます。

そして、今年度スタートから6名の新会員がこのような時期でありながらも入会して頑張っているのを見ると今からの西南ロータリークラブがさらに楽しみです。

会長らしいことはできませんでしたが、温かい目で見えて頂いた会員皆様に感謝致します。

1年間ありがとうございました。



理事役員・委員長退任挨拶

6月例会は短時間運営のためプログラム時間を省略しましたので、紙面で退任挨拶をご紹介します。

副会長

佐藤 二郎

今年度山下会長のもと1年間副会長を務めさせていただきました佐藤です。まさにあっという間の1年間でした。山下会長は「一步、前へ！」のスローガンのもと積極的な運営を実施され、成果を上げられました。とくに今年の3月からは新型コロナウイルスの猛威で例会が開けないという未曾有の事態にもかかわらず、動ずることなく理事会をSNSで開催するなど粛々とクラブの運営を行われ、大変良い勉強になりました。

新型コロナウイルスが今後どのようになるのか、第二・第三の流行があるのか不透明な中での新年度のスタートとなりますが、目の前の課題に一つ一つ取組み堅実な運営をして行きたいと思えます。今年1年皆様に種々ご指導頂いたことにお礼申し上げますとともに、次年度の運営につきましても本年度とかわらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。

直前会長

岡本 俊雄

昨年の7月に直前会長の任を拝命しました。主な仕事としては理事会の場において、会の終了時に直前会長講評を述べるのが仕事でした。会長の時とは違った立場での出席でしたので、客観的な立場で理事各位のお話を聞くことができました。熱心に事業に取り組

んでおられる理事のご意見は感心をするばかりでした。しかし、今年度4月以降は、新型コロナウイルス禍の影響で休会が続き、あっという間に、最終例会を迎えることとなりました。これまでのロータリー活動で経験したことのない出来事でした。この逆境を乗り越えて、ロータリーは新しい運動が求められてくるものと思われます。大きな時代の変化を感じる1年でした。十分な活動もできず終わりましたが、この1年間大変お世話になりました。甚だ簡単楚辞ですが退任の挨拶と致します。

幹事

岩田 智博

会長スローガン『一步、前へ！』の年度幹事を、無事に終えることができましたことに感謝いたします。

山下会長、佐藤副会長、岡本直前会長の素晴らしい指導の下、また、漆原副幹事、岡本副幹事に支えられ、理事、委員長のリーダーシップそして会員の皆様のご協力により、約1年半前からの、準備期間に素晴らしい計画を立てていただき、本年度をスムーズに過ごしてきましたが、今年の3月からの新型コロナウイルスの影響で、活動に制約を受ける中、各理事、委員長には、素晴らしい対応力を発揮していただきました。

おかげさまで準備期間からの1年半、大変貴重な経験をさせていただき、充実した時間を過ごすことができました。感謝いたします。「ありがとうございました。」

理事(クラブ管理運営委員長)

小野 誠

本年度は、クラブ管理運営委員会の理事を任命され各委員会委員長と連携を取り進め運営も順調に消化し

てきましたが、2020年に入りコロナウイルスの騒動が徐々に広がり、今まで経験したことのない、非常事態宣言による自粛行動・ステイホームと大変な状況となり例会を始め色々なイベントが中止となりました。理事会もZOOMによるリモート会議を経験させて頂き、これからウィズコロナの生活でのヒントを得たような気が致します。多少不完全燃焼であったことは否めませんが、各会員のお力を頂き何とか役目を終えることができました。

会員の皆様のご協力に感謝し、今年経験させて頂きました事を活かし、今後のロータリー活動において何をすべきかを探りながら取り組んでいきたいと思います。

理事（公共イメージ委員長）

田中朋博

公共イメージ理事の田中です。1年間を通じて、会報資料委員会の宮崎委員長、藤田副委員長、曾里会員、クラブ広報委員会の佐古委員長、先小山副委員長、佐藤暖以子会員にご協力いただきまして、無事に業務を終了することができました。今年度は、広島西南ロータリークラブのHPリニューアル、Lineグループでの情報共有もあり、これまでとは少し変わった活動となりました。事務局の近松さんや遠崎さん、掲載の情報をご提供いただきました皆様に感謝申し上げます。HPの更新作業は、情報さえあれば、クラブ内だけでなく外に向けても定期的な発信ができますので、次年度以降も委員会の立場で積極的に情報発信を実施したいと思えます。1年間、ありがとうございました。

理事（会員増強委員長）

折本 緑

「仲間を増やそう！『めざせ80名』ひとり一声」運動に、2か年にわたり熱くご協力いただきまして誠にありがとうございました。

昨年度は、会員の皆さまへの意識啓発を行なう年度と位置づけ、本年度は、いよいよその実を取る年度だと期首に高らかに宣言いたしました。

しかしながら、さあ！ラストスパートという時に新型コロナウイルスという強敵に負け、なんとも不甲斐ない結果に終わってしまったことをお詫びいたします。

そんな中でも、児玉委員長のご協力により過去最大の会員数が達成できました。

また、石井委員長には、新入会員に対して適切な入会審査と職業分類を行っていただき、徳納委員長には、「ロータリーの理念と奉仕活動」「ロータリークラブの行動基準と組織」「広島西南ロータリークラブの歴史」の3つのテーマを、全会員が複数年度で受講する仕組みを作っていただきました。

各委員長さまより力強いご協力に恵まれ、会員の皆さまに助けられ、幸せな1年間の活動でした。本当に

ありがとうございました。

理事（奉仕プロジェクト委員長）

寺本真司

19-20年度、奉仕プロジェクトの理事を務めさせて頂きましたが、本当にあっという間に終わってしまいました。

時期的なこともあって予定者の段階から、バタバタとスタートしてしまった地区補助金特別プロジェクト、岩田幹事の心配を余所に「補助金事業は2つともやらせていただきます！」と、勢いで手を挙げてしまい、杉本委員長・三宅委員長ほか、関係者の皆様には大変忙しい思いをさせていただきました。しかしながらこういうのは旨くできているもので、私のような、ぼやとした理事のもとにはデキル委員長が集結しており、ほとんどの事業が何の問題もなく順調に開催されていきました。

残念ながら、コロナウイルスの影響で中止になってしまったいくつかの事業、かなり強引ではありましたが、せっかく盛り返しにかけていたのに、あやふやになってしまったスマイル等々、尻切れトンボ感はありますが、ご協力下さいました皆様のおかげで楽しい1年を過ごさせて頂きました。

本当に、ありがとうございました。

理事（財団委員長）

室崎雅宣

財団委員会の室崎です。

今年度のロータリー財団委員会を林本委員長と萬歳副委員長で、また米山奨学委員会を根石委員長と平原副委員長で運営してまいりました。

両委員会とも、例会プログラム時間を利用して、ロータリー財団委員会は井内さんにグローバル補助金の活用について、また米山奨学委員会は奨学生の閻路さんに日中関係史の話をしていただきました。

補助金の活用については、今年度は特別に2つの地区補助金事業を奉仕プロジェクト委員会の皆様のご協力を得て実施することができました。

また、ポールハリスフェロー、ベネファクター、米山功労者になっていただいた方をはじめ、会員の皆様には多大なる寄付のご協力をいただき、地区目標を達成することができました。

以上会員の皆様の温かいご協力により、当初の計画を完遂できましたことをこころより感謝申し上げます。

1年間有難うございました。

S.A.A.

佐々木 宏

残念ながら新型コロナ対策のため3月～5月の例会が中止となりましたが、会員皆さんの協力のもと、節度

ある品位ある例会が実施されました。皆様に深く感謝申し上げます。

会計

白築忠治

今年度は年度後半に新型コロナウイルスの予期もしなかった影響が発生し、5月分会費請求ゼロなどの異例事態がありました。皆様のご協力のおかげで、資金管理と収支は順調に推移し無事終えることができました。

詳細は7月の例会で会計報告させていただきます。

副幹事

岡本倫明

初めての副幹事で1年間手探り状態でしたが、皆様のご協力のおかげで滞りなく終了することができました。最後は新型コロナウイルスの関係で、不完全燃焼でしたが、この経験をもとに今後のクラブ運営に尽力できればと思います。最後に、裏方で正確かつ親切に対応してくれた事務局の近松さんに感謝申し上げます。

副幹事

漆原健夫

3月からはコロナの影響で休会もありましたが、皆様のご協力のおかげをもちまして1年間、副幹事としての任務を無事に乗り切ることができました。私にとっても貴重な体験をさせていただき、勉強させていただきました。みなさま、本当にありがとうございました。

出席委員会 委員長

栗田博正

本年度、出席委員会の委員長を仰せつかりました栗田です。理事の小野会員、副委員長の梶本会員、三好会員をはじめ、会員の皆様には大変お世話になりました。1年間の皆様のご協力で感謝いたします。ありがとうございました。

親睦家族活動委員会 委員長

水谷耕平

親睦家族活動委員会の水谷です。

今年度は、小川副委員長をはじめ、多くの委員が丸丸となって事業を進めてまいりました。はじめに、委員の皆様へ1年間の御礼を申し上げます。

クラブ行事としては、昨年度に引き続き、9月の野球観戦家族会及び創立33年記念夜間例会、12月のクリスマス家族夜間例会を開催しました。クリスマス夜間

例会では当クラブ軽音楽部に出演してもらうなど、趣向を凝らした内容になったものと思います。

その他、今年度は、ガバナー公式訪問を広島廿日市RCと共同開催したことを受けて、11月には同RCとの間で合同夜間例会を開催いたしました。

今年度の委員会は、新入会員の方が多く、フレッシュなメンバーでした。そのため、司会の進め方なども個性的なものも多く、会員の皆様にも好評を博したものと自負しております。

毎例会時の来賓及びゲストのご紹介も滞りなく実施できました。これも会員の皆様のご協力の賜物と考えております。

至らない点が多々ありましたが、1年間本当にありがとうございました。

プログラム委員会 委員長

佐藤克則

本年度は、プログラム委員長を仰せつかり、1年間卓話の準備、運営を行いました。

今年度お伝えすべきことは、何といたってもコロナウイルス騒動に巻き込まれ、卓話プログラムが予定通り実行できなかったことです。1月までは予定通りでしたが、2月以降は外部講師の招へい中止、3月は1回例会を開催できたものの後は例会中止、4月、5月の2か月は全面的に例会中止となりました。6月も例会は開催されたものの卓話時間は無しです。

とりわけ山本豊会員には、数か月に及ぶ準備を進めて頂いたにもかかわらず、今年度にお話を頂くことができませんでした。

何はともあれ1年を終了し、なんとか役目を終えることができたと思っていたら、実は来年度も引き続きプログラム委員長だそうです。皆様のご協力で感謝するとともに、来年度もよろしくお願い申し上げます。

クラブ広報委員会 委員長

佐古雄司

・行事計画

- 1、新聞等また広島県・市の広報への広島西南ロータリークラブの対外事業PRの推進。上記PR用のニュースレターの雛形作成。
- 2、ロータリーの友への投稿へ向け、魅力ある内容を検討推進いたします
- 3、マイロータリーへの登録推進に向け会員への登録代行も検討いたします。
- 4、広島西南ロータリークラブホームページを、会員へのアンケート等により、より良いHPへの強化を図ります。

・実施結果

新聞などへの広報活動（対外事業PR推進）

・ニュースレターの投稿の実施

○丸石こどもの家の子供達と原爆ドーム周辺の清掃活動

2019/7/24 プレスリリース→8/6 経済レポート掲載

○川内にこにこ食堂支援事業

2019/8/17 プレスリリース→9/3 経済レポート掲載、9/27まるごと安佐南&安佐北ブログ

○広島ひかり園まごころへ電動ベッド、移動式リフト寄贈

2019/9/2 プレスリリース→9/5 中国新聞掲載

○新型コロナウイルス感染症対応に関わる医療機関、広島大学病院への防護服の寄贈

2020/5/25 プレスリリース→6/4 中国新聞、6/9 経済レポート掲載

会報資料委員会 委員長

宮崎 真

会員資料委員会委員長の宮崎です。1年間共に活動してきた藤田副委員長、曾里会員ありがとうございました。また担当理事としてフォロー頂いた田中理事と記載内容の確認等をして頂いた事務局の近松さんありがとうございました。

本年度は山下会長に毎回インタビューという形で山下会長の考えと想いを発信させて頂きました。山下会長には毎月プレッシャーをかけてしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

また、毎号コラムという形で執筆頂きました会員の皆様、嫌な顔せず快く引き受けて頂き感謝申し上げます。

最後に全会員の皆様、来年度も会報誌は皆様のご協力なくしては成り立ちませんのでどうか宜しく願い致します。

1年間ありがとうございました。

増強委員会 委員長

児玉栄威

本年度は、会員80名体制を実現すべく、新会員の発掘に努めて参りました。折本理事をはじめ会員皆様のおかげをもちまして、年度内に7名の新会員の方を迎えることができました。

同じく退会防止にも努めて参りましたが、残念ながら2名が退会され、純増は5名となりました。

会員の皆さんに新会員候補の方をご紹介いただき、粘り強く入会を勧めるという形で今年度は進めて参りました。そのなかで、10年会に参加してその後入会してくれた新会員の方も多くみられましたので、10年会との連携は大変有意義なものだったと感じております。

期末における会員数は71名と期首目標には達しませんでした。充実した活動ができましたことを感謝申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

会員選考・職業分類委員会 委員長

石井和彦

会員選考・職業分類委員会は、副委員長に吉田会員と委員に村尾会員の3名で担当させていただきました。

今期は会員増強の皆様のご検討もあり、6名の新会員の選考をさせていただきました。会員増を達成されたことは、会員選考委員会としても感謝しています。職業分類も4名の新会員の方の新しい職業欄を追加しました。

今期は、活発な委員会活動となり、充実した時間を過ごさせていただきました。

1年間ありがとうございました。

ロータリー情報委員会 委員長

徳納武使

新入会員が多い時期にコロナ禍になり、タイムリーにオリエンテーションを行えませんでした。

年度最後に約1時間、「ロータリーの理念と奉仕活動」そして「ロータリーの組織」をテーマに当該年度の新入会員にPPTを使ってプレゼンテーションを行いました。この方法は今までにないやり方で効果的と感じました。

また、職業奉仕GMは計画していた3回が1回しかできませんでした。卓話時間を利用して、「ロータリーの理念と奉仕活動」のプレゼンテーションをしました。寝る方も1人もなく、効果的な話ができたと感じます。

次年度も、なぜかしらロータリー情報委員会に配属されました。岩田委員長そして杉本委員と西南のロータリー情報の在り方を確立したいと感じます。

職業奉仕委員会 委員長

山國 豊

今年度職業奉仕委員長を担当しました山國です。

副委員長に遠崎秀一会員と新藤幸次郎会員の心強い方たちと1年間、助け合い、協力し頑張ってきました。

新型コロナウイルスの影響で職業奉仕GM1回、職業奉仕月間に因んだ卓話、優良従業員表彰等、残りの行事が実行できませんでしたが1年間職業奉仕にご協力本当にありがとうございました。

社会奉仕委員会 委員長

三宅陽一郎

社会奉仕委員長を仰せつかり1年が過ぎました。後半は思わぬコロナの影響でロータリークラブそのものの活動が制限される中、社会奉仕委員会の行事としては大半は年度の前半で予定・実施したこともあり、ほぼ期初の目標を達成できたのではないかと思います。皆様のご協力に感謝し退任のあいさつとさせていただきます。

きます。ありがとうございました。

国際奉仕委員会 委員長

長野 宏

今回国際奉仕事業として、事務局および各委員の方々のご協力のもと、外国人留学生との共同「にぎりずし体験」を企画しました。会場となる「にぎり座」様にもご協力を得て4月18日に実施予定でしたが、新型コロナウイルスにより残念ながら中止となりました。結局のところ何もできず非常に悔いの残る年となりました。また機会があれば事業にチャレンジしてみたいと思います。1年間どうもありがとうございました。

青少年奉仕委員会 委員長

杉本清英

今年度はコロナウイルスの影響で後半のRYLAは中止になりましたが大半の事業は前半に集中していたため消化することができました。中でも印象に残ったのは「地区補助金特別プロジェクト川内にこここ食堂支援事業」です。年度が始まる前に急ぎょ、地区補助金特別プロジェクトに応募することが決まり限られた時間の中で交渉した結果、広島市安佐南区で母子寡婦福祉会や社会福祉協議会などが中心になって運営する「川内にこここ食堂」を支援することになりました。当日は会員と児童と一緒に夕食のカレーを食べ、食後には会員がかき氷をつくり子供達に食べてもらいました。大きく口を開けてかき氷を頬張る子供の写真は「ロータリーの友」にも取り上げられ広島西南ロータリークラブの活動を広報できたと思います。スムーズに事業を行うことができたのも会員の皆様の協力のおかげです。ありがとうございました。

スマイル委員会 委員長

橋本幸範

スマイル委員会の橋本です。

山本春男会員、宮本昇会員との3名体制で1年間活動させていただきました。会員の皆様のご協力のおかげをもちまして、1年間スマイル委員長を務めることができました。深く感謝しております。

また、奉仕プロジェクト委員会理事の寺本会員にも大変ご協力をいただきました。

皆様、1年間ご協力いただきまして、ありがとうございました。

ロータリー財団委員会 委員長

林本正継

本年度ロータリー財団委員会委員長の林本です。萬歳副委員長と共に務めさせていただきました。

本年度のロータリー財団への寄付は、ポリオプラス会員1人当たり35ドル、年次寄付会員1人当たり150ドル以上、恒久基金のベネファクターには山下会長に、ポールハリスフェローには佐古会員と新藤会員に、マルチプルポールハリスフェローには杉川会員に、それぞれなっていました。

11月のロータリー財団月間にはロータリー財団の意義やグローバル補助金活用の国際奉仕事業について理解を深める為の卓話を実施致しました。

1年間ご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

米山奨学委員会 委員長

根石英行

1年間、米山奨学委員会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。

本年は、米山奨学生として閻路さんをお迎えし、岡本俊雄会員にカウンセラーをお願いしてお世話をしていただきました。また、米山特別寄附と一般寄付とを合わせて、クラブの寄付の目標を達成することができました。米山奨学金の活動について十分にお知らせできなかったことにつきましては、心残りではございますが、寄付を含め委員会の活動にご協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

戦略計画委員会 委員長

曾里 裕

本年度は新たなRI戦略計画並びに規定審議会の制定案を参考に、現戦略計画のあり方を検討したくらいで終わってしまいました。会員の皆様等へのクラブの戦略計画の認知度を上げるに至らなかったことをお詫びし、退任のご挨拶と致します。

西南の集い親善委員会 委員長

児玉栄威

西南の集い親善委員会の委員長を担当致しました児玉です。

本年度開催を予定していた「西南の集いin広島」は残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、実行委員長を中心に、組織作り、会の運営やアトラクション、観光等についても細かく計画を立て実施可能などところまで準備して参りました。

その後の各西南ロータリークラブとの協議で次年度は鹿児島、次々年度に広島で再度開催という運びとなりましたので、次々年度に向けてより良い会が催せるように引き続き努めていきたいと思っております。

次年度以降も全国西南ロータリークラブとの絆を深めていきたいと思っておりますので、多くの会員の皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、お願い申しま

して退任のご挨拶とさせていただきます。

メモリアル保存委員会 委員長

徳納 武使

雨で梅林整備事業が中止になり、コロナ禍で宮島包ヶ浦桜整備が中止になりました。寂しい結果となったのですが、35周年に向けて廿日市市と協議を始めました。西南RCの先人たちが残した包ヶ浦のメモリアルをもう一度美しく咲かせたいと思います。

台北新東RC親善委員会 委員長

岩田 智博

本年度は、2021年度の台湾での国際大会への参加準備と、35周年の共同事業の協力準備を行う年度でした。そうした中、4月に台北新東から有志13名の来日予定がありましたが、新型コロナウイルスの影響で来日が中止となり、事業の準備内容などの対話ができませんでした。また、来日準備の段階で、多くの会員にご協力いただきましたこと、感謝いたします。次年度も引き続き、委員長を拝命しております。変わらぬご支援宜しくお願い致します。

10年会 委員長

宮崎 真

10年会委員長の宮崎です。新入会員の掘り起こしを担う委員会として隔月でゲストを迎えて開催しました。委員会メンバーの積極的な声掛けと参加により毎回ゲストを連れて来て頂きありがとうございました。

ここ数年の活動により最近の新入会委員のほとんどが10年会に参加してからの入会となっています。新型コロナウイルスの問題もありますが、この流れを維持して80名の目標に向かって次年度も頑張りましょう。1年間ありがとうございました。

DONATION

	6月	年度累計
スマイル	107,000円	723,000円
善意の箱	3,062円	95,173円

掲 示 板

7月行事予定

- ◇ 7月7日 (火) 13:45 ~
第1回理事役員会 ANAホテル4F
- ◇ 7月14日 (火) 13:45 ~
第1回クラブ協議会 ANAホテル4F

☆7月例会ご欠席時のメイクアップ期間は特例により前後2ヶ月とさせていただきます。

新入会員からのご挨拶

大山 修司会員

6月から入会させていただきました、大山と申します。兄玉さんにお声かけ頂き、10年会には以前に一度出席させていただきましたおりました。

その後、入会につき何度かお誘いを頂いておりましたが、ロータリークラブという名前の持つ威圧感に、怯んでいたのが正直なところです。

しかし、ここ数年の個人的スローガン「拒絶したらゼロ」に照らし、ここはご縁を頂いたことに感謝して、入会させていただく決意をしたところでございます。

ロータリークラブにお誘いいただき入会できましたこと、非常に光栄に思っております。

仕事は、土地家屋調査士という不動産登記業務の一部を業として行っております。年齢は49歳。家族構成は、愛する妻と反抗期の盛り中学3年生男子1人です。

少しずつでもお役にたてる存在になれるよう努めてまいりたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

岡田 真規会員

6月に入会いたしました、株式会社リノベートファームの岡田真規と申します。

主に空調・換気・給排水衛生設備を中心に広島市西区大芝で操業しております。

人と地球に優しい快適空間の提供を企業使命とし、「住環境の総合プランナー」としてお客様の住環境・商業・生活において満足と感動をお届けいたします。

プライベートでは旅行が大好きで国内外のあちこち行っています。

また、最近ではゴルフに勤しんでおりますが、釣りやアウトドアの全般が好きで、日本バーベキュー協会の認定インストラクター資格も持っています。

これから永きに渡り、公私共々ご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



会長 時間

第1580回例会 6月2日

皆さん、こんにちは。
大変久しぶりですが、皆様に変わりはありませんか？

今回のコロナですが、最初は軽く考えていたもので、すから仕事上では結構厳しい状態でしたが、乗り切っていくよう頑張っております。

クラブ的にも今年度の約1/4を何もできなく会長の役目を果たせずに申し訳ありません。

できなかった行事の代わりに、なるべくできる奉仕の優先順位を考え、広島大学病院に防護服を寄贈してきました。

木内病院長を始め関係者の方々に大変喜ばれ、感謝の言葉を頂いたことを皆様に報告致します。

今月の残った期間を全力で頑張りたいと思います。

プライベートでは、外での食事がほぼ皆無で、家で過ごす時間が長く、いつもより酒の量が確実に増えてきましたが、早寝早起きで健康的に過ごしています。

話は変わりますが、今月は「ロータリー親睦活動月間」です。

ロータリーで言う親睦は、英語ではフェローシップとなっています。

フェローシップとは、「何かを一緒に行う、または利害を分け合う人々の行いで生まれる友情の感情、仲間意識、連帯感」という意味になります。

つまり、ロータリーの親睦とは、ロータリー運動を志す仲間の連帯、友情ということです。

その親睦を深める手段としてロータリアン同士の様々な親睦活動があり、それを通じて楽しみを分かち合い、地域を越えた親睦を深めることにより、一層ロータリーライフを充実したものにしていきたいと思います。

以上で会長の時間を終わります。

第1581回例会 6月9日

皆さん、こんにちは。

本来であれば、本日、佐藤副会長に例会を任せ、ワイキキの空の下でのんびりしているはずでしたが、残念ながら広島で汗をかいております。

そうです、ワイキキでロータリー国際大会に参加の予定でしたが、中止になってしまいました。

私は、過去に大阪で行われた国際大会にほんの少しだけ参加しましたが、スケジュールや人の多さにビックリしたりで、とても大変でした。

しかし、皆さんにチャンスがやってきました。

と言うのも、ロータリーバーチャル国際大会が行われることになりました。

6/20(土)の22時から第1回本会議が始まり6/

26まで、各分科会が行われます。

これは、家庭でパソコンを利用して、雰囲気を楽しめるところが画期的ですし、無料で参加できる国際大会です。

是非とも時間が取れる方は、myrotaryから入ってサインアップして参加して下さい。

当クラブのmyrotaryの登録状態は、48%程度なのでパソコンが使われる方、登録がまだの方は、これを機会に是非登録して下さい。

また、初めての方は、myrotaryと検索してアカウント登録のボタンから進んで下さい。

もし、不明な点があれば、私か田中朋博会員に相談下さい。

以上で会長の時間を終わります。

第1582回例会 6月16日

皆さん、こんばんは。

この1年間、たいしておもしろくもない話ばかりで申し訳ありません。

いよいよ最後の会長時間となりましたので、今までのロータリーの中で感じたことを話したいと思います。

感じたままに話しますので、聞き流して下さい。

私が入った当初のロータリーは、寄付や寄贈したことはあまり公にしないで、「あしながおじさん」のような感じでした。

しかし、最近は国際ロータリーから広報を進めるような記事を多く見ます。

私としては批判ではありませんが、そこに何か引っかかります。

私の会社では、「5日で5,000枚プロジェクト」というボランティアに参加しています。それは、災害が起きて避難所が出来たら、5日以内に5,000枚の新しい畳を無料で差し上げるというボランティアです。この畳は、全国の有志の畳店が自分で申告した枚数を提供します。今現在で528店、6,874枚になっています。過去に色んな災害地に持って行きましたが、その団体の発起者がいつも気にしている事が広報です。

メディアが報道する事によって、世の中に知られて、行動しやすくなるのは事実です。でもあまり大きく報道されるとアンチな意見が必ず出てきます。まさに、右に寄りすぎても落ちるし左に寄りすぎても落ちてしまう、登山でいう馬の背のようなところを進むような状態の広報を行うように心掛けています。

同じようにロータリー活動の広報もバランス良さが必要と思います。

これで、最後の会長時間とします。1年間ありがとうございました。

例会記録

第1580回例会

6月2日

12:30~13:10 ANAクラウンプラザホテル

国歌斉唱 われらの生業

新会員入会式

岡田真規会員(株)リノベートファーム 代表取締役)

推薦者:折本緑会員・杉川聡会員

大山修司会員(あすみあ土地家屋調査士事務所 代表)

推薦者:児玉栄威会員・曾里裕会員

お誕生記念月記念品贈呈

会長時間

幹事報告

6月16日(火)夜開催の最終夜間例会の案内配布の案内。/次年度会員手帳の原稿を6月会費のお知らせに同封。必ず確認のこと。/今月は期末月、会費は必ず月内に支払いのこと。/例会終了後、理事役員会開催。

スマイルボックス

稲田健二会員、宮崎真会員、佐藤克則会員

出席報告

会員数 73名 出席 62名 欠席 11名

第1581回例会

6月9日

12:30~13:10 ANAクラウンプラザホテル

奉仕の理想

四つのテスト唱和

米山功労者表彰

岡本俊雄会員(第3回マルチプル)

室崎雅宣会員(第2回マルチプル)

米山功労法人表彰

長野 宏会員(10万円)

ご結婚記念月記念品贈呈

連続出席100%(3~5月分)

吉田栄壮会員(29年)、谷口公啓会員(21年)、寺本真司会員(13年)、杉本清英会員(12年)、折本 緑会員(10年)、佐古雄司会員(9年)、上田直治会員(6年)、山國 豊会員(6年)、水谷耕平会員(5年)、小野 誠会員(4年)、岡本倫明会員(4年)、沖井 翔会員(2年)、佐藤暖以子会員(2年)、稲田健二会員(2年)、高鍋 徹会員(2年)

会長時間

幹事報告

6月理事会で、6月例会は全員出席として対応することで承認(欠席者メイクアップ不要)。/来週の最終夜間例会&歓送迎会の回答は本日迄、必ず連絡のこと(欠席者には別途記念品を発送)。/ロータリー手帳配布の案内(申込者のみ)。/例会終了後、次年度理事役員会開催。/次週6月16日(火)18:

30より今年度最終夜間例会を開催。

スマイルボックス

熊本卓司会員

出席報告

会員数 73名 出席 55名 欠席 18名

第1582回例会

6月16日

18:30~20:30 ANAクラウンプラザホテル

最終夜間例会&歓送迎会

ROTARY

ホーム例会皆出席100%

岩田智博会員、小野誠会員、白築忠治会員、

山本豊会員、山下幸彦会員

会長時間

幹事報告

本日最終夜間例会につき、ボックス内配布物他持ち帰りのこと。/今月期末月につき、必ず月内に会費振込みのこと。/次週より休会。新年度は7月7日(火)例会からスタート。/7月会費は7月21日の予算決算報告後に発送予定。同好会半期会費請求のメンバー表は7月14日迄に連絡のこと。/7月プログラムは例年通り、7月7日理事役員就任挨拶、7月14日委員長就任挨拶、7月21日予算決算報告、7月28日新会員卓話。該当者は当日の挨拶と月報用原稿を送付のこと。

出席報告

会員数 73名 出席 61名 欠席 12名



2019-2020年度 第12回理事・役員会 議事録

日 時：2020年6月2日 13時30分～

場 所：ANAクラウンプラザホテル広島4F

出席者：山下（幸）、佐藤（二）、岡本（俊）、小野、
田中（朋）、折本、寺本、室崎、白築、
佐々木（宏）、岩田、岡本（倫）、漆原

開会挨拶 山下会長

議題

- ① 地区からの報告
地区大会を2021年5月15日、16日に延期して開催することの報告があった。
また、コロナウイルス特別支援として、広島県で4万、山口県で4万のマスクの寄贈をした。
- ② 他クラブの6月例会の開催状況について
6月のメイクアップについて、6月は出席扱いにしているところが多い。
当クラブでも6月を出席扱いとすることで承認可決された。
- ③ 事業報告書の提出について
昨日の時点で各理事に報告書が集まっているかを確認し、来週の月曜日までに岩田幹事まで提出のこと。
- ④ 田中和之会員から入院の為、出席免除申請があり承認された。
- ⑤ 5月度会計報告
5/26防護服の広島大学病院への寄付を行った。

- ⑥ 退会の件
山本春男会員から退会申し出があり、承認された。
- ⑦ 転勤の件
三井ホームの高鍋会員が名古屋へ転勤により6月末をもって退会の申し出があった。
後任については、まだ未定とのこと。

理事報告

- ・佐々木／あと2回の例会をしっかりと対応したい。
- ・折 本／ラストスパートのところ、コロナ禍で目標を達していない、寂しい終わり方になった。
- ・寺 本／スマイルが起動に乗りかかったが、コロナで目標達成できず残念であった。
- ・田 中／広大贈呈には中国新聞、経済レポートの取材を受けた。
マイロータリーには33名の登録が終わっている。
- ・小 野／最終夜間例会 歓送迎会も兼ねて最後を飾りたい。
- ・コロナ関連の出席免除についても、細則11条出席義務の免除の規定で対応できる。申請が条件。

直前会長講評 岡本俊直前会長

閉会挨拶 佐藤副会長

スマイルボックス

6月2日

稲田 健二会員 新規事業として次亜塩素酸水の噴霧器及び液剤の販売を始めました。本日ご案内をボックス配布させて頂きました。

宮崎 真会員 5月2日より1週間ケーブルTVちゅピCOMの「プラスワン」に出演させて頂きました。

佐藤 克則会員 私は6月1日で古希を迎えました。昭和60年に創業した社会保険労務士事務所の代表も、5月一杯で退任して、顧問という立場に変わりました。これからは、勤務期間も含め46年間経験を積み重ねてきた社会保険労務士の仕事のうち、経営者の困ったこと、教えてほしい事などの相談にのる事、加えて企業のマッチングを手助けすること、そんなことをやりたいと思っています。ロータリー活動は、別会社として設立しておりますサトーアソシエイツの代表として、これからも続けて参ります。皆様には、今後も今まで同様にお付き合い下さるよう、よろしく願い申し上げます。

6月9日

熊本卓司会員 5月に広島県呉市飲食組合さまへの「のぼり旗テイクアウト」無償提供させて頂きました。昨日6/8バスケットB Jリーグ広島ドラゴンフライズ朝山キャプテンに来社して頂き動画撮影終了。また、今月テレビ新広島さま「満点ママ」、来月は2回目ディアボスと最近メディアに出すぎてお断りしましたが、各局の方より今広島で一番元気がある会社と言われました。が、「現金はありません」これからも目立たずがんばります。スマイル大賞目的でなく社会奉仕が目的です。

会員記念日

会員誕生日	入会月	結婚記念日	
3月	3月	3月	
奥田 實 1日	田中 茂樹 H2年	水谷 耕平 6日	白築 忠治 11日
室崎 雅宣 17日	三好 清隆 H3年	寺本 真司 14日	佐々木 宏 15日
佐古 雄司 18日	寺本 真司 H19年	稲田 健二 21日	杉本 清英 16日
岩田 智博 18日	杉本 清英 H20年	4月	奥田 實 16日
4月	折本 緑 H22年	山下 幸彦 14日	栗田 博正 26日
山本 豊 1日	上田 直治 H26年	林本 正継 21日	6月
熊本 卓司 10日	田中 和之 H27年	徳納 武使 25日	先小山英夫 1日
石井 和彦 11日	小野 誠 H28年	萬歳 幸治 27日	沖井 翔 2日
鍵岡 馨 16日	沖井 翔 H30年	5月	岡本 倫明 4日
萬歳 幸治 25日	佐藤暖以子 H30年	宮崎 真 1日	栗原 佑哉 15日
梶本 尚揮 26日	4月	田中 茂樹 3日	田中 和之 16日
栗田 博正 29日	吉田 栄壮 H1年	吉田 栄壮 4日	尾崎 順也 19日
	佐古 雄司 H23年	時岡 俊介 5日	遠崎 秀一 20日
パートナー誕生日			
5月	3月		
児玉 栄威 3日	熊本卓司夫人 弥生様 8日	岡本倫明夫人 和子様 24日	
新藤幸次郎 6日	小野 誠夫人 照子様 4日	谷口公啓夫人 季代子様 27日	
小川 光博 12日	寺本真司夫人 美奈様 5日	萬歳幸治夫人 洋子様 28日	
栗原 佑哉 15日	児玉栄威夫人 幸子様 9日	折本 緑夫 大野公嗣様 29日	
6月	田中朋博夫人 公仁江様 14日	高鍋 徹夫人 愛里様 30日	
佐藤 克則 1日	沖井 翔夫人 瑞穂様 16日	6月	
平石 雅史 3日	稲田健二夫人 千里様 21日	深谷泰之夫人 和佳乃様 4日	
谷口 公啓 12日	井上俊博夫人 文恵様 22日	長野 宏夫人 夏子様 10日	
河原 英二 15日	4月	藤田 進夫人 貴代美様 17日	
宮崎 真 17日	杉本清英夫人 明子様 3日	尾崎順也夫人 隆子様 19日	
折本 緑 23日	山下哲夫夫人 千春様 3日	田中和之夫人 恵子様 27日	
	佐々木信幸夫人 香代子様 8日	新藤幸次郎夫人 有香様 27日	
創業月			
3月			
村尾博司 (株)興洋 S49年	水谷耕平 水谷・木村法律事務所 H20年	宮本 昇 光和海運(株) S35年	
三宅陽一郎 府中紙工(株) S35年	沖井 翔 (株)恵実 H26年	小川光博 小川電気通信(株) S22年	
根石英行 弁護士法人 広島メール法律事務所 H13年	白築忠治 (株)白築鑑定事務所 S47年	佐藤暖以子 三光電業(株) S32年	
長野 宏 (南)ナガノ防災サービス H16年	田中茂樹 田中食品(株) M34年	6月	
佐藤克則 社会保険労務士法人 サトー S60年	山本 豊 (株)山豊 S37年	井上俊博 (株)ハイエレコン S57年	
尾立静泰 美徳産業株式会社 H26年	吉田栄壮 (株)光HOTEL&OFFICE S21年	栗田博正 広島シティ法律事務所 H20年	
4月	山下幸彦 広島豊材(株) H元年	宮崎 真 (株)ニシキプリント S42年	
萬歳幸治 (株)萬歳経営 S44年	山本春男 (株)ヤマユウ H3年	寺本真司 (株)寺本緑化建設 S37年	
稲田健二 西部熱機(株) S48年	大山修司 あすみあ土地家屋調査士事務所 H16年	漆原健夫 (株)ペルラ構造 H28年	
河原英二 (株)河原商会 S44年	5月		
	藤田 進 合同会社Juho H16年		

編集後記

会報資料委員会として1年間月報の編集作業に関わり、何とか最終号までたどり着きました。支えて頂いた田中理事、藤田副委員長、曾里会員、そして近松さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。また、毎号毎号記事の寄稿にご協力頂いたすべての会員の皆様へ感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。(宮崎 真)

2019年7月14日発行

発行 広島西南ロータリークラブ [会長：山下 幸彦 幹事：岩田 智博]

事務所 ▶ 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル13F TEL 082-221-4894 FAX 082-221-4870

編集 会報資料委員会

医療機関への支援活動が紹介されました



広島大病院へ 防護服を500着
 広島西南RCが寄贈
 広島市の広島西南ロータリークラブ（RC）は、広島大病院（南区）に医療用の使い捨て防護服500着を寄贈した。新型コロナウイルスなどの感染症対策に役立ててもらおう。
 頭から足首まで全身を覆うフード付きのタイプ。同RC会員の経営する企業が

木内病院長右に防護服を手渡す山下会長

中国新聞6月4日付

中国から取り寄せた。山下幸彦会長が5月28日、同病院に木内良明病院長を訪ねて手渡した。木内病院長は「防護服の供給がまだ不安定なのでありがたい。検査態勢の充実や、流行の第2波への備えのために活用したい」と感謝していた。同RCが計画していた外国人との交流イベントなどが感染拡大のため中止になり、その事業費などを防護服の購入費に充てた。

ロータリークラブが医療物資寄贈
医療機関へ感謝と支援が相次ぐ

広島安芸ロータリークラブ（山本一志会長）は先月26日、（一社）安芸地区医師会（安芸区海田町栄町5-13、白川敏夫会長）にフェイスシールドを寄贈した。

安芸郡、呉市、江田島市等の158の医療機関で構成される安芸地区医師会は行政から配布される医療物資を必要に応じて構成機関に配布していたが、感染症指定医療機関への配布が優先されるため一般診療所等は在庫の確保が十分ではなかった。

同地区のロータリークラブである広島安芸ロータリークラブの山本会長は「写真左は、コロナ禍の中で医療従事者を支援できることがないかと会員と共に模索していたところ同クラブの高尾会員（右）ハイプロテック副社長の縁を頼り、（株）松川町3-29、藤田晋二社長」が複数のドクターからの声を基に改良を加えたフェイスシールドを作製したことを聞きつけ購入、医療物資の確保にひつ迫する同地区医師会に寄贈した。同医師会の白川会長（同右）は

「非常に質の高いフェイスシールドを寄贈頂きました。当地区で休日当番医を担当される一般診療所等に配布する等して活用したい」と話した。

大学病院に防護服寄贈
 広島西南ロータリークラブ（山下幸彦会長）は、広島大学病院（南区）に防護服500着を寄贈した。

山下会長（写真左）は「医療現場では医療物資の確保が最優先のおられる方が多いときには1週間で1000枚もの防護服を必要とされている」と話した。広島大学病院では県の感染症受け入れ態勢に基づき、人工肺（ECMO）を必要とする重症度の高い患者を受け入れており、多いときには1週間で1000枚もの防護服を必要とされているという。

医療機関は今後も医療物資の確保に努めるが引き続きの支援も要請していきたいとしている。

「つながると考えています」と話した。

木内病院長（同右）は「報道にもあるように、医療現場では医療物資の在庫がひつ迫しています。新規感染者数は収束傾向にあり、ようやくひと安心というところではあります。心というところではあります。今後は検査体制の拡充や第2波への備えが求められます。医療物資の確保は継続的課題です。寄贈を頂きとても助かります」と話した。

経済レポート6月9日号

